



## 野田聖子衆議院議員が奈良医大病院を視察

～ 障害のある係員40名と交流を深める ～ 奈良県立医科大学附属病院 12月2日



野田聖子議員は「みなさんの働く姿を見て、多くの障害のある人が働けるようになればと思ってきました」「私の9歳になる息子は身体障害、知的障害があり、母として、どうしたら息子が楽しく、一生懸命生きていけるかと思ってきました」と係員へ挨拶をされ、その後、交流を深められました。

6人の係員がお願いや思いを発言しました。一人は「発達障害があります。親がなくなった後、市役所など近くで相談ができるようにしてほしい」とお願いしました。

野田聖子議員は「もっと身近に相談できるセンターができるように取り組みます。あなたのような人が生きやすいように、私が発達障害者の法律を作りました。まだ法律ができたばかりなので、こういう風に生きたいということを国へ伝えてください」とお応えくださいました。

最後に係員へ激励のお言葉をいただきました。

「本当にいい職場ですね。みなさん、なかまがいて、楽しく働いていますね。いろんな人へPRしますね」「まだ、まだ働ける力があるのに、働けない人が多くいます。みなさんが頑張ってくれることで、うちの子のような障害が重い人も可能性が広がります。世の中を明るく、よくしていくんだとみなさんに期待しています！」

係員40名は全員で野田聖子議員を正門から見送りました。



## 中央タオル部 障害のある係員の就労現場を視察



係員は、タオルは身体、顔を拭く2種類あり、ゴミがつかないように気をつけながら作業をしていることを説明しました。「仕事は楽しい!」「休まないで仕事に来ています」「給料で携帯電話代を払っています」等、一人ひとりが野田聖子議員と会話をしました。

野田聖子議員から「元気で健康がいちばんです。楽しく、仕事をがんばってください」と、激励のお言葉をいただきました。

### できることをする! 障害のある係員は病院の戦力です!

#### ～ 障害者雇用について懇談 ～

野田聖子議員、古家仁院長、高橋美雪看護部長、岡山弘美障害者雇用推進マネージャー



古家仁院長は障害者雇用が病院にとってプラスであることを話されました。

「最初は一人から始めました。ちょっと不安はあったけれど、実際に病棟で始めると障害のある係員は指示されたとおり業務をおこなない、期待以上の仕事をしてくれています。現在、奈良医大病院は50人雇用を目標に掲げています」「係員がコツコツと仕事をしてくれるので、安心して任せられます。医療従事者の業務の一部を係員へ任せられるので、看護師、技師等は、専門職の業務へ集中できます」「医療現場はとても助かっています。経営的にも看護補助員は診療報酬で加算されますので、経営改善にもなっています」

高橋美雪看護部長は医療現場からの報告をされました。

「患者さんに寄り添いケアする私たち看護師は、“できることをする”という土壌があります。係員の受け入れの際もできることを搜してきました。問題があれば、そのとき対応すればよいと考えています」「病院は人手不足のなか、係員は各部署で大切な戦力です。いなければ困ってしまいます」「22病棟のうち現在21病棟で係員は活躍してくれています。まだまだ働く部署はあります」「係員が真面目に働く姿を見て、患者さんは“自分たちもがんばろう”と元気になっています」

岡山弘美障害者雇用推進マネージャーは経緯、現状、今後の意気込みを話されました。

「こんな人がいるけれど、できる仕事はないでしょうか？と高橋看護部長と相談しながら係員の職場が広がってきました」「養護学校、就労支援機関の紹介で、職場実習に取り組んでいます。採用の際は最低でも体験で2週間、見極めで2週間、トータル1ヶ月の実習をしています。タオル折りは必修で1時間に100枚折れることが条件です」「今、40名の係員、2名の支援者、3.18%の障害者雇用率です。係員のことは現場の看護師長さんや看護助手さんへお願いしています」「今後は係員が自主性、主体性を獲得して実習生の指導や新人育成の指導すること、係員から看護部の看護助手へ成長することが目標です」



野田聖子議員は、3名の話を受けて障害者雇用の核心、今後の展望について話されました。

「素敵な病院ですね。働いているみんながなかよく、生産性をあげていますね」

「百聞は一見に如かず、是非、国会議員をはじめ多くの方々に見学に来てもらえるようにします。障害者雇用はできないと思っているし、具体的なことが思いつかないのです。奈良医大病院は看護部と障害者の関係がウィン-ウインの関係で成り立っており、全国の病院や企業の障害者雇用のモデルです。奈良医大病院のケースを学び、全国どこでもできるようになってほしいです」

「これまで障害者雇用は、障害者はできない前提で進められています。もっと経営者、トップの方は、“その人のできることを見出す”努力をしなければいけません。やれる仕事を探せば、ずっと働けるわけですから。心清らかに、さぼらずに、楽しく一心不乱に働く障害者の姿から学ぶことがたくさんあります。タオル折りの彼は天才です。私も勉強になりました」

「私は“知的障がい者の明日を考える議員連盟”の会長をしています。奈良医大病院の看護部長の度量は素晴らしい、しかも合理的な病院経営となっています。素晴らしい！今後も奈良医大病院へ寄りたいです。また、機会があれば是非、東京へ来られて、各方面へ発信をお願いします」

短時間ですが、とても有意義な懇談となりました。



# ♪ 地元へ帰ろう ♪

生徒はいきいきと  
地域活動をしています



**奈良中央信用金庫クリーンキャンペーン**

11/2 王寺町内  
高等養護学校卒業生1人



**まほろば円舞会宮廷舞踏会**

11/4 なら100年会館  
【受付】奈良西養護学校高等部1年生3人



**健康フェスティバル2019**

11/10 南奈良総合医療センター  
【受付係】高等養護学校2年生



**第26回大淀町人権フェスティバル**

12/7 大淀町文化会館  
【募金、よどりちゃん】大淀養護学校生徒3人



**2019年度 識字合同学習会**

12/14 川西文化会館  
【司会、受付】高等養護学校生徒3人



**香芝冬彩**

12/14 今池親水公園  
【参加】ならチャレンジド15人



**歳末助け合い新作カレンダーチャリティーバザー**

12/10~21 イオンモール高の原、大和郡山、近鉄百貨店  
橿原店 奈良東、西和、大淀、高等養護学校生徒30人

## 県立ろう学校ダンス部SMILEが出演

～第18回やまここおりやま人権フェア～

12月7日(土) やまと郡山城ホール



県立ろう学校ダンス部SMILEのメンバーは、曲に合わせて踊るだけではなく、音楽なしで踊る「サイレントダンス」も取り入れ、立派にステージを務めました。

## 県立高等養護学校ダンス部&卒業生ダンスチームが出演

～第26回大淀町人権フェスティバル～

12月7日 大淀町文化会館



8年前、県立高等養護学校ダンス部の初舞台が大淀町人権フェスティバルでした。以来、8年連続、当フェスティバルへ出演させていただいており、ここで育てられています。

## 第34回奈良県高等学校総合文化祭 優秀賞

美術・工芸部門（令和元年度十津川巡回展推薦作品）

大石夢都さん（奈良西養護学校高等部3年）おめでとうございます



「象さん、できた！」最高の笑顔で大石夢都さんは担任の三野直子先生へ報告しました。

大石さんは当初、伊藤若冲の絵に興味を示さなかったのですが、ある日、じっと絵を見つめるや否や、絵を描き始めました。象をまず初めに描き始め、最後にまた象を追加で描き上げ完成となりました。

卒業後も楽しい絵を描き続け、将来は個展が開催されることを期待しています。



# 障害のある係員から学ぶ体験、大事なことに気づく！

## ～奈良教育大学生が県立医大病院で職場実習～

11月18日～22日 奈良教育大学4回生

【実習】看護補助、タオル折り等



奈良教育大学生は、今春、特別支援学校教師をめざしており、「知的障害のある人が継続して就労する」ことへ強い関心を持っています。学生は障害のある人に仕事を教えてもらいながら、一緒に働くことで、その一端を探ろうと、5日間の職場体験実習にはいりました。

まず朝30分間、病院正面玄関で挨拶運動を行い、その後、各現場（婦人科病棟、中央タオル折り等）の作業へはいりました。

最初は緊張した様子でしたが、日を追うごとに障害のある係員とも打ち解け、充実した実習となりました。昼休みは、一緒に食事をしながら、プライベートの会話を楽しくできたようです。今回の体験から障害のある人と共に生きる感性をつかんだことでしょう。

### ◆ 学生の感想 ◆

あっという間に1週間の実習が終わりました。

今まで、先生や支援者というような立場で障害のある人と関わっていましたが、実習生として、障害のある職員さんに仕事を教えていただいたり、お話ししたり、一緒に働かせていただくことで、一人ひとりの優しさ、素直さ、仕事に対する真剣さ、心の葛藤などを感じ、すごく大事なことに気づくことができました。

また、岡山さんがおしゃっていた「任せる」という意味も働いてみることで実感することができました。

この一人ひとりのよさを潰さないように、一緒によさを伸ばしていけるような人になりたいです。

# 暮らしのルールブック 楽しく生きていくために守ること



## 障害のある本人のために必要な本

社会のルールを知らなかった故に  
つらい思いをするのは本人です。

生活の場面（イラスト入り）で、  
（１）こんなことが犯罪になるよ  
（２）気をつけないと被害にあうよ  
（３）警察に捕まったらこうなるよ  
と、わかりやすく書かれています。

本人、保護者、学校、支援者の身  
近で活用していただきたい本です。

### 《 申し込み先 》

- ・ 社会福祉法人 南高愛隣会
- ・ 〒859-1215 長崎県雲仙市瑞穂町古部甲 1572  
電話 0957-77-3600 FAX 0957-77-3966 メール unzen@airinkai.or.jp
- ・ 1冊 250円（税込み、送料別） ・ カラー印刷、イラスト入り、B5版46ページ  
\*冊子の売り上げは「共生社会を創る愛の基金」へ寄付されます。  
（元厚生労働事務次官・村木厚子さんが立ち上げた、罪を犯した障害者支援のための基金です）  
～社会福祉法人南高愛隣会の承認を得て掲載しています～

### よく噛んで健康に シリーズ 5

#### おし歯になりにくいおやつの食べ方

甘いものを食べるとお口の中で酸が作られ、それが歯を溶かすことはご存じでしょう。  
だから砂糖が多いおやつはできれば避けたいですね。でも、すぐに口の中からなくなるものであれば  
おし歯になる危険性は少し下がります。

【口に残りやすいおやつ】キャラメル、チョコレート、クッキー、カステラ

【口に残りにくいおやつ】おせんべい、豆類、果物、ゼリー、アイスクリーム、乳製品



どんなものを食べるかと、どんな与え方をするかが大切です。

- ① 回数を決める：少ないほうが良い。できれば食後すぐに与えるのもいい方法。
- ② 短時間で終わる：ダラダラ食いは最悪。ルールを決めてその場で「ごちそう様」。
- ③ お茶かお水をすぐ後に飲む：口の中の酸を洗い流すか薄める。できれば歯磨きも。  
(ジュースやスポーツドリンクはおどろくほど砂糖が入っているので、一緒に飲むのはNG)

執筆は正田歯科院 正田農夫院長（檀原市）です。次回は「歯の検診はとても大事です！」

## 第39回全国アビリンピック 堂々の銅賞！

安達芽衣さん（なんとチャレンジド株式会社）おめでとうございます！



荒井正吾知事（左）、安達芽衣選手

吉田弘明香芝市長（左）、安達芽衣選手

安達芽衣さん（21歳、香芝市在住）は、愛知県で開催された第39回全国アビリンピック（11/15～17）において、全国から44名の選手が出場したワードプロセッサ部門で見事、銅賞に入賞されました。おめでとうございます！

競技は、日本語の文書3枚を80分、英語の文書3枚を60分（図、グラフを含む）で正確に、早く打ち上げることを競います。安達さんは「表彰式で名前を呼ばれたときは、信じられない、夢のようでした」「他の人ができていない図、グラフができていますと総評していただき、来年のアビリンピックでは全ての課題を完璧にできるようにします」と、抱負を語りました。

## 奈良中央信用金庫

### 岸本亜矢子さんデザインのキャッシュカード発行



高田知彦理事長（左）、岸本亜矢子さん（29歳、香芝市在住）



12月9日、奈良中央信用金庫では岸本亜矢子さんデザインのキャッシュカードがスタートしました。金庫番のライオン、岸本さんの地元の二上山が描かれたメルヘンデザインです。

高田知彦理事長は「5年前、岸本さんと出会って以来、キャッシュカードデザインのオファーをいただいていた。この度、ようやく実現でき、うれしく思っています」「このキャッシュカードを機に、地元の女性、若年層が当金庫へ親しみをもって利用していただければ、ありがたいです」と話されました。

岸本亜矢子さんは「いろんな人が見る度に、明るくなっていただければ、とてもうれしいです！」と笑顔で語っていました。



口筆で描く岸本さん

